

～まちの話題アレコレ～ 「神興東小学校」

10月1日、3日、8日の3日間、4年生は民生委員体験に行ってきました。地域の高齢者宅を訪問し、日々の様子を伺ったり、気になることを質問したりすることで、交流を深めることができました。

その際に喜んでもらえるよう、体験の日までにリコーダー演奏の練習やメッセージカード、折り紙などのプレゼント作り、会話の練習に励みました。当日は、緊張した様子で出発した子どもたちでしたが、訪問先ではどのグループも練習の成果を発揮できたようで、満面の笑顔で学校へ戻ってきました。

どの交流先からも喜ばれ、民生委員さんからも褒めていただきました。

体験後の子どもたちの感想には、喜んでもらえてよかった、準備を頑張ってたよかった、楽しかった等の前向きな言葉がありました。

喜んでもらったことや頑張ったことを糧にして、今後の成長につなげていきたいと思います。

(4年生担任：織田 彩聖)



～歴史探訪 第2回～

相撲取り「七ツ石」 **旧津丸村の古老が語ったあのお話**

- 津丸に七ツ石という相撲取りがおったらしいですね。津丸には神武天皇と関係した七つ石がありましたな。それを醜名にして「七ツ石」と言いよった。これは強かったそうですね。
- 占部清五郎さんの大祖父さんか何かが強かったらしいでね。そうばってん、許斐山の見えんごとなりやつまらんげなたい。
- なしですか。
- 八並の和平さんて力の強くて、相手になる者はおらんやったて。東京相撲か大阪相撲か何かが「本場に来い」って言うて、つのうて（連れて）行ったばってん、許斐山が見えんごとなりゃ、もう力が出て（笑）。
- 昔は宮相撲がおおかたのお宮で、若いもの草相撲がありよった。

「昔語り福間あところ」より

現在、七ツ石は、津丸神武神社に3個、個人住宅に2個あると言われています。全部そろえば、天下無双の相撲取りが現れるかも。

なお、江戸期城戸大庄屋の晴雨日記には、宗像大社や神興神社、各集落での秋祭りとその際の相撲見学の記録があります。現在は、神興神社境内の子ども相撲大会が秋に開催されています。また、昭和の初め、宗像市南郷には関脇でまできた「沖ツ海」がいました。

(次回はコッケラコウ (インテンカンテン) の予定です)

久末：的場 文彦

写真で見る部会活動

福祉部会

- みんなで支え合うまちづくり
- 人との出会いを大切に
- 人とのつながりをより大切に

福祉部会長：町田 健二



健康測定会



郷づくりカフェ



じんとうサロン
居場所づくり